



AirSpeed 5000

多様性と価値



Avid® AirSpeed® 5000サーバーは、あらゆる規模の放送局に幅広く適応します。日常的なフィード、ライブ取材、制作、あるいは送出用再生といったニーズを伴う放送と制作の為に設計されており、スタンドアローンでの運用のほか、共有メディアネットワークのAvid ISIS®やプロダクション・アセット・マネージメント・システム（Interplay®）と組み合わせることで、取込んだ素材を即座に編集できるプロセスを実現することも可能です。AirSpeed 5000は、2/4チャンネルでのXDCAM/AVC-Intra収録・再生や、DNxHD再生、さらに、2あるいは4チャンネルでのSD収録・再生に対応します。一方、電源・冷却ファンはチャンネル別に分かれているため、消費電力を抑えたスモール・フォーム・ファクタ・システムを実現しています。なお、AirSpeed 5000はすでに運用中のシステム、制御、そしてオートメーションに統合することができます。

フォーマットを選ばない一貫した制作ワークフロー

AirSpeed 5000 基本構成の場合、DV25/50とIMX 30/50に対応しています。2/4チャンネルのMPEG-2 HDモデルはXDCAM EX/HD、HDV、DNxHD再生に対応しており、また、2チャンネルバージョンにはAVC-Intraサポートを追加できます。また、AVC-Intraの2/4チャンネルモデルの場合、MPEG-2 HDやDNxHD再生に対応しています。MPEG-2 HDとAVC-IntraモデルはSonyやPanasonicのハードウェアコーデックを採用しているため、仕様に忠実な完全実装を実現できます。どのモデルにもDNxHD 85/100、120/145、185/220 収録・再生オプションを追加できるほか、チャンネル毎にH.264プロキシの同時作成が可能なおプションもあります。Interplay Production と連携したLAN/WANベースの簡単で高速なワークフローに対応できます。

高い稼働率

ストレージは8TBあるいは4TBの容量があり、番組、コマーシャル、挿入素材など幅広い用途に使用することができます。RAID50によるメディア保護に加え、OSドライブ、電源ユニット、ネットワーク接続そしてシステムファンの冗長化により、パフォーマンスと稼働率の最適なバランスを実現します。また、最大5システムまでグループ化できるAirSpeed Studio構成では、（再生制御）チャンネルのフェイルオーバー、あるいは送出システムの自動化オプションと組み合わせることで、更なる冗長性と柔軟性が提供され、高い信頼性を実現することができます。

より速い制作

AirSpeed 5000サーバーはXDCAMとP2デッキ、サードパーティ製のサーバーや編集システムと直接ファイルを交換できます。Avid NewsCutter®やMedia Composer®, Symphony®といった編集機やISIS®共有ストレージを利用すると、Frame Chase™機能によって収録と編集の時間が仮想的に取り除かれ、接続された編集機は転送開始から数秒後に素材にアクセスすることができます。編集が終了するとワンクリックで完成したクリップを再生できるほか、AirSpeed 5000に送ってライブ再生や速報ニュースといった素早いメディア再生が可能です。

柔軟なオンエア

AirSpeed 5000サーバーはワークフローのスピードと再生の柔軟性を念頭に設計されました。選択された再生フォーマットに合致しないクリップは自動的にアップ、ダウン、あるいはクロスコンバートされます。また出力チャンネルはHD/SDの自動切り替えに対応しているため、チャンネルがひとつのフォーマットに限定されることはありません。また、高いクオリティのスローモーション再生機能が追加され、スポーツハイライト制作における完璧なソリューションといえるでしょう。

予算に合わせて

AirSpeed 5000の2/4チャンネルバージョンフル装備させ、Avidやその他の編集機に接続して使用すれば、放送局で必要とされるプロフェッショナル・レベルの信頼性を低価格で提供します。AirSpeed 5000はAvid NewsCutterやMedia Composer編集機と繋いだ単独運用のほかにも、AirSpeed 5000、NewsCutterまたはMedia Composer編集機、ISIS 5000共有ストレージ、サポート、トレーニング、オンサイトのプロフェッショナルサービスの一式を全て含んだAvid NewsVision™ワークフロー・ソリューションがあり、スムーズな導入を支援します。予算に合わせて、Avid Interplay Production、iNEWS®, そしてiNEWS Commandなど、アセット・マネージメント管理や、報道の素材管理、さらには送出の自動化のための支援システムなど段階的に拡張することが可能です。

自動化された取り込みと送り出し

Interplay Capture収録制御システムと繋ぐことで収録/録画のスケジューリングが可能になるほか、ビルトインIsoSync®機能を使うとフレームを同期した状態のマルチカメラ編集素材をボタンひとつでISIS共有サーバーへ取り込まれるため、即座に編集作業を始めることができます。ニュースが数日あるいは数週間に渡る場合、AirSpeedはシームレスな収録に対応しているため、収録スケジュールを個別に管理する必要がありません。オンエア時間になったら、AirSpeed 5000 Remote Consoleに複数チャンネルのプレイリストを設定でき、iNEWS Command再生制御アプリケーションから、自動、半自動、マニュアル制御のオンエア再生できます。また、AirSpeedサーバーは高い互換性備えており、外部タイムコードにも対応しているほか、APIや、業界標準のVDCP、GPI/Oを介して、オートメーションシステムと簡単に接続することができます。

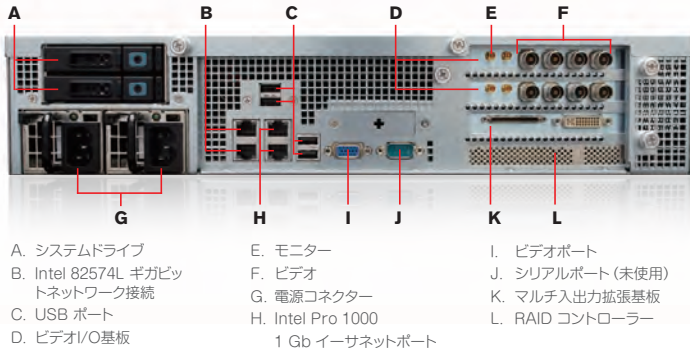
安全で拡張されたアクセス

Remote Consoleアプリケーションを使うと、監視、制御、キュー、再生、クリップのイン点/アウト点の変更、サブクリップ作成、プレイリストの作成・編集、クリップリストの管理が、どのCPUからでも可能です。クリップは参照フレームによって簡単に特定でき、すべてのメディアは収録室と編集クライアントにアクセスすることができます。管理者はオンエア操作の安全性を確保するため、ユーザーのアクセス権限を選択することができます。

詳細は、 avid.com/products/airspeed-5000 をご覧ください。

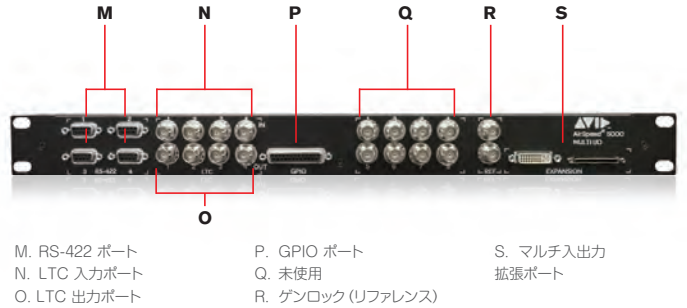
AirSpeed 5000 – 多様性と価値

AirSpeed 5000



- A. システムドライブ
- B. Intel 82574L ギガビットネットワーク接続
- C. USB ポート
- D. ビデオI/O基板
- E. モニター
- F. ビデオ
- G. 電源コネクタ
- H. Intel Pro 1000 1 Gb イーサネットポート
- I. ビデオポート
- J. シリアルポート (未使用)
- K. マルチ入出力拡張基板
- L. RAID コントローラー

AirSpeed 5000 Multi I/O



- M. RS-422 ポート
- N. LTC 入力ポート
- O. LTC 出力ポート
- P. GPIO ポート
- Q. 未使用
- R. ゲンロック (リファレンス)
- S. マルチ入出力拡張ポート

仕様

ビデオチャンネル

全モデル:

- 双方向チャンネル x 4 (1入力、1主出力、1補助出力/チャンネル)
- PAL、NTSC、1080i 50/60、720p 50/60 (SMPTE 259M、SMPTE 292M、SMPTE 295M、SMPTE 296M)
- 標準機能としてベースモデルでHD出力へのアップコンバートをサポート

ビデオ圧縮

ベースモデル

- (MPEG-2 HDとAVC-Intraモデルも同様)
- 4チャンネル
- DV 25 (4:1:1、4:2:0) 収録または再生
- DV 50 (4:2:2) 収録または再生
- IMX 30 および 50 収録または再生

MPEG-2 HD (XDCAM) モデル

- (+すべてのSDフォーマット)
- 4チャンネル
- HDV 25Mbps 収録または再生
- MPEG-2 HD 17.5、35 (シンおよびフルラスター)、50 Mbps 収録または再生
- DNxHD 120/145 再生
- 2チャンネル
- DNxHD 185/220 再生

AVC-Intra モデル

- (+すべてのSDフォーマット)
- 4チャンネル
- AVC-Intra 50、100 収録または再生
- DNxHD 85/100、120/145 再生
- MPEG-2 HD (HDV 25Mbps、MPEG-2 HD 17.5、35、50 Mbps) 再生
- 2チャンネル
- DNxHD 185/220 再生

オプション

- ベースモデル用DNxHDオプションにより下記が可能
- 4チャンネル DNxHD 120/145 収録または再生
- 2チャンネル DNxHD 185/220 収録または再生
- 4チャンネル MPEG-2 HD (HDV 25Mbps、MPEG-2 HD 17.5、35、50 Mbps) 再生
- MPEG-2 HDまたはAVC-Intraモデル用DNxHDオプションにより下記が可能
- 4チャンネル DNxHD 120/145 収録
- 2チャンネル DNxHD 185/220 収録 (MPEG-2 HDとAVC-Intraモデルは標準機能としてDNxHDの再生が可能)
- H.264低解像度プロキシオプションにより下記が可能
- H.264 800Kbpsのプロキシを各収録チャンネルでリアルタイムに同時作成

注記: すべての対応フォーマットがシームレスに連続再生できます。

オーディオ

チャンネル/ペア

- SD (収録または再生): 1ビデオチャンネルにつき最大4ペアのエンベディッドオーディオ
- HD (収録または再生): 1ビデオチャンネルにつき最大8ペアのエンベディッドオーディオ

サンプリング

- 48 KHz、16、または24ビット精度

圧縮オーディオの保全

- AC-3とDolby Eオーディオのパススルー

低解像度プロキシオーディオ

- 各収録チャンネルのプロキシにつき最大8ペア
- MPEG1 Layer 2 オーディオ圧縮

制御と同期

外部制御

- VDCP
- ネイティブネットワーク API (AMS API)

マニュアル制御

- ユーザーインターフェースから収録、再生、トリミング、設定
- ユーザーインターフェースから複数のサーバーにわたり最大2チャンネルまでキュー、収録、停止をIsoSync同期
- GPIO (収録、再生、停止、リキュー)

タイムコード

- LTC SMPTE 12M 各ビデオチャンネルに1入力、および出力
- 入力つきVITC SMPTE 266

ライン選択

- アンシラリータイムコード

リファレンス

- アナログブラックバースト (NTSCまたはPAL) もしくは3値リファレンス、ルーブスルー付き入出力

クローズドキャプションおよびアンシラリーデータ

- すべてのクローズドキャプションのラインの保全 (DV、IMX)
- SMPTE 436準拠のすべてのアンシラリー
- データの保全

ストレージ

- 4チャンネル: 1TBドライブ x 10 (使用可能容量 8 TB)、RAID 50 によるメディア保護
- 2チャンネル: 1TBドライブ x 5 (使用可能容量 4 TB)、RAID 50 によるメディア保護

アスペクト比変換 (ARC) -

アップ/ダウン/クロスコンバート

- SD ↔ 1080i, SD ↔ 720p, 720p ↔ 1080i, SD 4:3 ↔ SD 16:9
- クロップ、アナモフィック、ピラーボックス、レターボックスの各形式に出力時にAFDベースでダイナミック変換

冗長性

- ネットワーク接続の冗長化
- ホットスワップ可能な冗長化電源ユニット
- ホットスワップ可能なメディアドライブ
- ホットスワップ可能なミラー化フートドライブ
- N+1冗長化システムファン

ファイル取り込み/交換

- MXF OP1aファイルのFTP転送による入出力

物理的仕様

外形寸法および重量

サーバーシャーシ

- ラックユニット: 2
- インチ: 19.00 (w) x 3.5 (h) x 29.5 (d)
- ミリ: 483 (w) x 89 (h) x 749 (d)
- ポンド: 62; キログラム: 28.1

マルチ入出力拡張パネル

- ラックユニット: 1
- インチ: 19.00 (w) x 1.75 (h) x 4 (d)
- ミリ: 483 (w) x 45 (h) x 102 (d)
- ポンド: 4.4; キログラム: 2.0

電源

- 二重/冗長化されたホットスワップ可能な電源供給ユニット
- 90 ~ 240 VAC, 50/60 Hz
- 通常362W; 最大720W

環境

- 動作時温度: 0° C ~ 40° C
- 動作時湿度: 5% ~ 95% (38° Cのとき) 結露なし
- 非動作時温度: -20° C ~ 60° C
- 通常1235 BTU/Hr; 最大2593 BTU/Hr

音響

- 通常63.5 db (距離1メートル)
- 最大78 db (距離1メートル、40°C)

アビッド テクノロジー株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館ビル4F

詳細は、 avid.com/products/airspeed-5000 をご覧ください。

© 2013 Avid Technology, Inc. All rights reserved. Avid Technology, Inc. 無断複製・転載を禁じます。製品の機能、仕様、システム要件、および販売形態は、予告なく変更されることがあります。AirSpeed、Avid、Avidロゴ、Avid DNxHD、Avid Mojo、Avid Unity、AVX、FrameChase、iNEWS、Intraframe、Interplay、ISIS、NaturalMatch、NewsCutter、Nitris、ScriptSync、PostDeko、SpectraGraph、SpectraMatteは、アメリカ合衆国あるいはその他の国におけるAvid Technology, Inc.やその子会社の登録商標または商標です。「Interplay」の名称はInterplay Entertainment Corp.の許可を得て使用しており、同社はAvid製品に対してなら責任を負うところのものではありません。そのほか本書に記載されている商標はすべて、各所有者に帰属します。

AS5KDS0313